演題番号２

　日本では，われわれが回復期リハビリテーション病棟に勤務する作業療法士を対象としてEBPの促進要因に関する調査研究や尺度開発研究を行ってきました．しかしEBPは，作業療法士だけでなく，リハビリテーション専門職が急性期から共通言語として取り組む重要な実践過程です．今後は，急性期～生活期に従事するリハビリテーション専門職がEBPに関する知識と技術を醸成していくための卒前・卒後教育の充実が重要な課題であると考えています．そこで現在，われわれが開発したEBP評価尺度をリハビリテーション専門職が活用できるように改良し，卒前・卒後教育の効果を測定するための準備を進めています．

　リハビリテーションに関わる卒前・卒後教育を切り口として，臨床・教育・研究に従事する先生方と研究連携を図っていきたいと考えています．ぜひ交流をよろしくお願いいたします．